

(1) 応募団体に関すること

- ア 応募団体の経営方針、業務概要、主要業務、特色等について
- イ 応募団体の業務における庄戸コミュニティハウス指定管理業務の位置づけ
- ウ 応募団体が行った公の施設その他類似施設の管理運営に関する主な実績

ア 応募団体の経営方針、業務概要、主要業務、特色等について

栄区上郷の地で自然の素晴らしさと健康に働くことの大切さを人間形成の基礎を育む幼児期から伝えたいという思いから学校法人森学園を設立した。地域の子どもから大人まで、幅広い世代の「健康」と「生涯学習」に貢献することを目的とした事業を展開している。法人理念「心を育む健康教育」を今も大切に、幼保連携型認定こども園をはじめ、栄区子育て支援拠点ひろば事業、横浜市一時保育・一時預かり保育事業、サッカースクール、障害児通所支援事業等、45年間に渡り栄区で教育・社会福祉事業を営んでいる。また、2026年1月に横浜きりん学園（文部科学省指定_学びの多様化学校、義務教育学校学校設置認可）を開校し、近年の不登校児童生徒が増加傾向にある社会課題の一助となるよう積極的に取り組んでいる。

イ 応募団体の業務における庄戸コミュニティハウス指定管理業務の位置づけ

学校法人森学園の主要業務は幼児期から学童期児童の教育・保育・障害福祉事業を柱に、地域の社会福祉課題に積極的に取り組んできた。1998年から約10年に渡り、旧庄戸中コミュニティハウスを拠点とした高齢者向けデイサービス「てんとう虫」の運営に携わり、高齢者の健康と余暇の質の向上に貢献した。上郷・庄戸地域の教育・社会福祉課題に尽力した実績と経験を活かし、「庄戸コミュニティハウス」の事業において、多世代間の「健康」「まなび」「つながり」をさらに活性化し、地域に開かれた暖かな場を創設する重要な役割と位置付ける。

ウ 応募団体が行った公の施設その他類似施設の管理運営に関する主な実績

前項に記載の通り、

現在管理運営している施設種別	施設数
幼保連携型認定こども園いのやま幼稚園保育園	1施設
栄区子育て支援拠点私立常設園もりのひろば	1施設
横浜市指定一時保育事業 きのこキッズ、わんわんルーム	1施設
横浜市指定障害児通所支援事業 こども発達支援ビーンズ	4施設
いのやまサッカー&スポーツ	1施設
義務教育学校 横浜きりん学園（学びの多様化学校）	1施設

(2) 庄戸コミュニティハウス管理運営業務の基本方針について

- ア 設置目的、区政運営上の位置付け
- イ 地域特性、地域ニーズ
- ウ 公の施設としての管理

ア 設置目的、区政運営上の位置付け

庄戸コミュニティハウスの運営にあたり、「健康」「まなび」「つながり」を育む地域共生型コミュニティハウスの実現を目指し、地域住民の自主活動や相互交流を促進するための地域活動拠点として設置されることを目的とする。

【基本方針】

- これまで法人が養ってきた地域連携のノウハウを生かし、上郷・庄戸エリアのさらなる魅力と活力を引き出す拠点として持続可能な運営を行っていく。
- 1. 多世代交流の促進（子育て世帯、高齢者、学校との連携プログラムの提案）
- 2. 上郷庄戸地域の自然豊かな環境の活用と広報）
- 3. 地域住民の主体的な活動支援（グループ活動・サークル活動の支援と情報提供）
- 4. 安心安全な施設運営（防犯・防災対策、感染症対策の実施）
- 5. 地域コーディネイト機能の発揮

イ 地域特性、地域ニーズ

1. 少子高齢化と地域活動の担い手不足の課題

上郷・庄戸エリアは少子高齢化が進み、地域の伝統や仕組みの継承、地域活動の担い手不足や固定化など、多様な問題が存在している。一方、令和元年より転入世帯が転出世帯を上回り、子育て世帯にとって、自然豊かで子育てをしやすい環境に恵まれている。

2. 地域住民の声（課題の認識）を反映した持続可能な体制

「地域コミュニティの形成促進」や「住民の交流・学びの場や機会の提供」に貢献するため、併設される義務教育学校との連携を図り、利用者にとって魅力的な施設運営を目指す。

3. 地域交通の課題

地域交通の脆弱化は上郷・庄戸地域において喫緊の課題となっている。横浜市、栄区、義務教育学校と連携し、スクールバスを活用した地域交通の活性化に取り組み、コミハ利用者の利便性の向上を図る。

ウ 公の施設としての管理

- 行政が定める条例・規程以外は、利用者アンケートや地域団体の意見やご要望を考慮し、「サークル活動並びに個人で利用を希望する皆様が公平・公益的に利用できる施設運営」に努める。
- 研修室の団体利用は1コマを3時間とし、利用日の2か月前の同日（応当日）から受け付ける（窓口）。団体の1ヵ月の利用回数は原則2コマまでとし、利用日の1週間以内で空き室があれば申し込み可能とする。

(4) 施設の運営計画

ア 設置理念を実現する運営内容

イ 利用促進策

ア 設置理念を実現する運営内容

● 地域住民一人ひとりが主体的に関わることができる「居場所づくり」

利用者が公正に施設を活用できるよう利用案内を分かりやすく掲示
施設内掲示板、HP のお知らせ、会報誌の発行、回覧板などで情報提供を行う。

● 誰もが気軽に立ち寄れ、安心して過ごせる「地域のリビング」

学校の開放エリアと連携し、清潔で心地よい空間を提供する。

● こどもから高齢者まで、多世代が交わる「まなびと交流の場」

学校法人としての専門性とこれまで地域の教育福祉事業に携わってきたノウハウを生かし、地域の学校、福祉、行政、NPO などと柔軟に連携しながら、子育て世代から大人までの学習の機会を提供する。

● 地域課題に向き合い、解決に寄り添う「支援と共同の仕組み」

利用者の声を反映したイベントや地域住民の健康と孤立を防ぐ「つながり」ネットワークづくりを支援する。具体的には、グループ活動やボランティア活動の支援をしたい人と利用したい人を繋ぐ情報や場の提供を行い、子育て家庭や高齢者が孤立しない街づくりを目指す。

イ 利用促進策

【交流促進策】

- 館内 FreeWifi を完備し、タブレットや PC を活用した情報交換の利便性を向上する。
- 多世代交流イベント (例：地域住民&こども園 (保育園・幼稚園) & 学校 (小中) との合同労作展 (文化祭)、栄区政 40 周年を盛上げる開催、GreenExpo2027 活性のイベント企画)
- 趣味の交流グループ立ち上げ支援 (例：園芸、手芸、料理、木工など)

【生涯学習促進策】

- 地域住民向け学習講座 (例：健康・歴史・IT スキルなどをテーマにした自主企画の実施)
- 読書会や読み聞かせ会：大人向け読書会・子ども向け絵本・かみしばいの読み聞かせ会を行う
- 無料購読サービス：館内 Wifi で閲覧可能な新聞・デジタル雑誌の無料サービスを提供する。

【健康・福祉増進策】

- 軽スポーツ、レクリエーション活動 (例：初心者向けヨガ体験、軽体操の体験)
- 栄養相談や口腔ケアセミナー：当法人の栄養士・歯科衛生士による相談やセミナーを開催
- 子育て交流会：育児・発達に関する相談や情報交換の機会を提供

【地域連携・活性化策】

- 地域団体と連携した企画 (例：瀬上沢トコドリふれあい広場のクリーンアップ活動、東上郷・円海山の里山保全ボランティア活動)
- 地域情報の提供 (他事業所や施設で実施するイベント・セミナー等の情報提供)

(4) 施設の運営計画

- ウ 利用者ニーズの把握と運営への反映
- エ 利用者サービス向上の取組

ウ 利用者ニーズの把握と運営への反映

庄戸コミュニティハウスの運営においては、利用者と職員の対話による随時意見収集を行う。その他、定期的な評価と柔軟な改善を通じて、利用者の満足と地域ニーズへの的確な対応を実現する。

- **利用者からの意見**：個人利用及び団体利用の方を対象に「利用者アンケート（事業所評価）」を実施し、ニーズ・満足度を把握するとともに、アンケートの結果は館内掲示や広報誌等で共有し、改善状況を報告する。主なアンケートの内容：①コミュニティハウスの利用目的、②参加してみたい自主事業、③利用してみたい設備や備品、④希望図書、④その他ご意見
- **苦情対応**：利用者の立場に立った考え、対応を心掛け、「利用者の潜在的要望の把握」に努め、利用者の要望に応えられない場合は代替え案の提示や応対方法の工夫などを検討し、改善に努める。

エ 利用者サービス向上の取組

【ニーズの把握】

- 職員、学校施設管理者等をメンバーとした庄戸コミュニティハウス運営委員会を毎月実施し、利用者から出された意見やニーズの共有と課題の改善策を検討する。必要に応じて、地域の有識者や団体関係者も交えて意見交換を行い、その結果については、できるもの・できないものを含めて館内掲示板でお知らせする。

【対応技術・方法の向上】

- 接遇、サービスの外部研修に参加し、職員の資質と利用者サービス向上に努める。職員の対応力やサービスレベルの向上を図る。
- 利用者が館内にて無料で使用可能な FreeWifi を完備し、図書室にはデジタルマガジンや新聞等の閲覧が可能なサービスを無料で提供する

【助言・相談・調整機能の充実】

- P D C A サイクルの徹底：計画、実施、評価、改善のサイクルにより、日々の業務を振り返り、課題を精査し、優先順位をつけて施設運営の改善を図る。
- 施設利用を促し、地域交流を促進するため、個人又は団体のニーズに対して積極的に助言・相談・調整に応じる。そのため、O J T や外部研修等を通じて、職員一人ひとりの対応能力の向上を図る。

(4) 施設の運営計画

オ 横浜市重要施策に対する取組

オ 横浜市重要施策に対する取組

【情報公開の促進】

- 横浜市の情報公開条例の趣旨に則り、庄戸コミュニティハウス情報公開規程を策定し、適切に取り扱う。
- コミュニティハウスの活動や運営に関する情報を積極的に公開する方法：ウェブサイト、館内掲示板、広報誌など複数の手段で地域住民に情報発信を行う。
- 情報バリアフリーへの配慮：窓口での筆談対応、ICT を活用した多言語対応、ICT を活用した音声情報の文章化により、コミュニケーションの多様性に配慮する。

【人権尊重の理念に基づいた運営】

- 横浜市の人権施策基本方針に則り、あらゆる差別をなくし、多様な人々が安心して利用できる環境づくりに努める。
- 専門機関と連携し人権尊重に関する学習機会の提供（ワークショップや講演会）や職員の人権研修に取組み、利用者の人権を尊重し、誰もが安心して利用できる施設を目指す。

【環境に配慮した取り組み】

- リデュース（ごみを減らす）、リユース（繰り返し使う）、リサイクル（資源リサイクル）の推進と啓発を行います。具体的には、イベント時も含めた徹底した分別とともに、利用者にもゴミの持ち帰りをお願いする。
- 地域緑化活動への参加や連携：GreenExpo2027 のテーマ「幸せを作る明日風景」に沿って、自然と共存しながら人々や社会が持続可能な未来を創造していく活動やイベントを支援します。具体的には、地域住民が主体的に参加できる「エディブルフラワーガーデン企画（食べられる菜園）」の開催や地元の児童福祉・介護施設や企業と「上郷・瀬上沢クリーンアップ活動」に共同参画し、円海山や瀬上沢の緑化保全と美化活動に取り組む。

【市内中小企業への優先発注】

- コミュニティハウスの運営に必要な物品やサービス調達における市内中小企業の積極的な活用と調達における透明性の確保に努める。合同文化祭では地域企業への協力と協賛を呼びかける。

【障害福祉政策への貢献】

- 障害のある人もない人も共に利用できるバリアフリーな施設運営を計画する（物理的、情報、コミュニケーションの配慮）。
- 民生委員、児童委員障及び害児・障害者支援事業所及び団体が開催する自立支援協議会の定例会・連絡会に参加し、地域の要支援者のニーズ把握に努め、福祉課題の一助となるコミュニティ施設としての在り方を検討する。

【男女共同参画の推進】

- 多様なライフスタイルを尊重する視点をもって、性別にかかわらず平等に利用でき、活躍できる場を提供する。

(4) 施設の運営計画

カ 地域コーディネイト機能に対する取組

カ 地域コーディネイト機能に対する取組

地域コーディネイト機能は、学校と地域資源（人材、団体、施設など）を結び付け、互いに協力体制を築きながら教育環境の充実、地域活動の活性化や学習の機会の提供など、地域でのネットワークづくりをサポートする役割を担います。

地域コーディネーターの役割は、これまでのように学校支援活動や個別団体の支援とどまらず、より広い視野で地域における学校との協働体制を作っていくことが必要です。

地域コミュニティの活性化拠点であるコミュニティハウスにおいて、地域コーディネーターは住民ニーズに応じた活動を促進するとともに、地域課題解決の調整に努めます。地域住民の笑顔あふれるコミュニティハウスの実現に向け、地域コーディネイト機能を最大限に発揮して貢献します。

【地域の様々な会議等の運営・参加】

- 庄戸コミュニティハウス運営委員会の運営
- 栄区自立支援協議会への参加（要支援者、地域福祉のニーズや課題の把握）
- 栄区子育て支援拠点連絡会・栄区幼保小連携校長園長会の参加（子育て世帯ニーズの把握）
- 庄戸防災拠点運営委員会定例会・避難訓練等への参加（地域防災活動との連携）
- 地元企業、介護福祉施設、児童福祉・教育施設と協力して地域環境保全活動に参画
- 上記の他、行政、町内会、他施設との連携・情報交換を行う

【自主グループが生まれ、自律して活動できるまでのサポート】

- 自主グループを検討している個人・団体向けに定期的な相談会を開催するとともに、施設内掲示板や HP にて広報支援を行う。

【発意を持っている団体や協働の相手を探す】

- 地域や社会をよくする活動や取り組みに関心がある団体を対象に、協働のパートナーを「さがす」「つながる」機会と場を提供する為、定期的なセミナーや合同研修会を開催する。

(5) 自主事業計画

自主事業計画

庄戸コミュニティハウスは、地域住民の多様なニーズに応え、誰もが気軽に立ち寄り、学び、交流できる「地域の居場所」となることを目指す。特に、以下の点を重視し、地域特性を活かした魅力ある自主事業を展開する。地域住民の自主的活動を支援し、地域住民の参加による新たな地域コミュニティ団体やグループの形成、地域住民の相互交流の推進を目的に、地域住民が参加しやすい参加費設定を基本とし、魅力ある事業を企画する。

- **多世代交流の促進:** 子どもから高齢者まで、多様な世代が集い、互いに学び合える機会を創出する。
- **地域課題への貢献:** 子育て支援、健康増進、防災、デジタルデバインド解消など、地域の課題解決に繋がる事業を実施する。
- **地域資源の活用:** 地域の団体、NPO、企業、学校等と積極的に連携し、地域全体でコミュニティハウスを支え、育む体制を構築する。
- **利用者の主体性の尊重:** 利用者アンケートやヒアリングを定期的に行い、ニーズに基づいた事業企画・改善を行う。

具体的な計画(案)

事業名	目的	主な対象者	内容	期待される効果
わくわく！親子ひろば	子育て世帯の情報交流促進	未就学児と保護者	手遊び・読み聞かせ・季節工作・保護者向け茶話会	親子の孤立解消、地域の子育て支援ネットワークの形成
いきいき！シニア健康塾	高齢者の健康維持促進・仲間づくり	主に 65 歳以上の市民	軽体操、脳トレ、栄養講座、スマホ・タブレット講座	健康寿命の延伸、閉じこもり予防、社会参加の促進
つながる！地域の輪文化祭	地域住民の活動発表、地域文化の発信	地域住民全般	サークル発表、作品展、体験コーナー、模擬店（年 1 回）	住民の自己実現支援、世代間理解の促進、多世代交流
もしも！備える防災カフェ	地域防災意識と共助体制の向上	地域住民全般	防災専門家による講和、防災グッズ紹介、ハザードマップ確認	防災知識と地域防災力の教科、顔の見える関係づくり

令和7年度 「横浜市庄戸コミュニティハウス」 収支予算書兼決算書
(R8. 01. 09~R8. 03. 31)

収入の部						(税込、単位：円)
科目	当初予算額	補正額	予算現額	決算額	差引	説明
指定管理料	4,042,000	0	4,042,000		4,042,000	横浜市より
利用料金収入	0	0	0		0	
自主事業(指定管理料充当の自主事業)収入	0	0	0		0	
自主事業収入	25,000	0	25,000		25,000	
雑入	5,000	0	5,000	0	5,000	
印刷代	5,000	0	5,000		5,000	
自動販売機手数料	0	0	0		0	
駐車場利用料収入	0	0	0		0	
その他(広告ラック収入・預金利息)	0	0	0		0	
収入合計	4,072,000	0	4,072,000	0	4,072,000	
支出の部						
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	2,592,000	0	2,592,000	0	2,592,000	
給与・賃金	2,547,000	0	2,547,000		2,547,000	館長・副館長及び時給職員2名
社会保険料	0	0	0		0	
通勤手当	45,000	0	45,000		45,000	常勤職員・時給職員
健康診断費	0	0	0		0	常勤職員・時給職員
勤労者福祉共済掛金	0	0	0		0	
退職給付引当金繰入額	0	0	0		0	
事務費	372,000	0	372,000	0	372,000	
旅費	10,000	0	10,000		10,000	出張旅費
消耗品費	60,000	0	60,000		60,000	事務消耗品費
会議旅費	10,000	0	10,000		10,000	
印刷製本費	30,000	0	30,000		30,000	
通信費	45,000	0	45,000		45,000	電話代・郵送料等
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0	0	0		0	目的外使用料等
その他	0	0	0		0	リース経費等
備品購入費	150,000	0	150,000		150,000	
図書購入費	40,000	0	40,000		40,000	
施設賠償責任保険	10,000	0	10,000		10,000	
職員等研修費	7,000	0	7,000		7,000	
振込手数料	5,000	0	5,000		5,000	
リース料	5,000	0	5,000		5,000	
手数料	0	0	0		0	
地域協力費	0	0	0		0	地域イベントの協力費等
事業費	220,000	0	220,000	0	220,000	
自主事業(指定管理料充当の自主事業)費	0	0	0		0	
自主事業費	220,000	0	220,000		220,000	イベントの実施
管理費	578,000	0	578,000	0	578,000	
光熱水費	345,000	0	345,000	0	345,000	
電気料金	300,000	0	300,000		300,000	
ガス料金	0	0	0		0	
水道料金	45,000	0	45,000		45,000	
清掃費	40,000	0	40,000		40,000	日堂・定期清掃費
修繕費	78,000	0	78,000		78,000	
機械警備費	75,000	0	75,000		75,000	
設備保全費	40,000	0	40,000	0	40,000	
空調衛生設備保守	0	0	0		0	
消防設備保守	0	0	0		0	
電気設備保守	30,000	0	30,000		30,000	
害虫駆除清掃保守	0	0	0		0	
駐車場設備保全費	10,000	0	10,000		10,000	
その他保全費	0	0	0		0	ピアノ、音響、コピー機保守費
共益費	0	0	0		0	
公租公課	200,000	0	200,000	0	200,000	
事業所税			0		0	
消費税	200,000		200,000		200,000	
印紙税			0		0	
その他()			0		0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に)	110,000	0	110,000	0	110,000	
本部分	90,000		90,000		90,000	労務・経理等の本部事務経費
当該施設分	20,000		20,000		20,000	(施設管理/水光熱費按分手数料)
リース対応費			0		0	
支出合計	4,072,000	0	4,072,000	0	4,072,000	
差引	0	0	0	0	0	
自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支				0		
管理許可・目的外使用許可収入				0		
管理許可・目的外使用許可支出				0		
管理許可・目的外使用許可収支				0		

横浜市庄戸コミュニティハウス自主事業別計画書（単表）

団体名 学校法人森学園

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
わくわく！ 親子ひろば	<p>目的：子育て世帯の情報交流促進 対象：主に未就学児と保護者 内容： ①季節の造形遊び（保育士と一緒に手遊びや読み聞かせを交えて、季節の造形・制作遊びを楽しみます） ②茶話会（心理士や児童発達管理責任者がファシリテーターとなり、育児や発達に関するテーマで保護者向けの茶話会を開催）</p> <p>期待される効果親子の孤立を解消し、地域の子育て支援ネットワークを形成する。</p>	<p>①隔月（年1回）土曜日AM ②隔月（年1回）木曜日AM</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いきいき！ シニア健康塾	<p>目的：高齢者の健康維持・促進、仲間づくり 対象：主に60歳以上の地域住民 内容： ①軽体操、②脳トレ、③栄養・口腔ケア講座、 ④スマホ・タブレット講座、⑤初心者ヨガ体験、 ⑥栄養・口腔ケア相談会</p> <p>期待される効果健康寿命の延伸、閉じこもり予防、社会参加の促進</p>	毎月（年2回） 水曜日PM

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

令和7年度庄戸コミュニティハウス自己評価表

目標設定の視点	計画内容及び運営目標	計画内容及び運営目標に対する実績	今後の取組(改善計画)	自己評価
利用者サービス	近隣の自治会・町内会・学校・福祉施設などへ開所の挨拶訪問を実施			
	快適に安心してご利用いただけるように館内の利用方法を分かりやすく掲示する。			
	市民図書館の図書を充実させ、楽しんでもらえるように新刊を積極的にそろえ周知する。			
	ウェブサイトを通じてイベント情報を定期的に発信する			
	幅広い世代を対象としたイベントや講座を計画する			
業務運営	円滑な運営と利用者の安全確保の為、業務マニュアルの整備と緊急時の対応訓練を実施する。			
	受付対応、施設管理、会計処理などに関するフローを随時確認し、1月～3月までの年度実績報告を行う。			
	コミュニティハウスの開館時間や利用ルールを明確に掲示し、利用者の方に分かりやすくご案内する。			
	業務上の課題や対応事例の申し送りと共有を定期的に行う。			
職員育成	火災や地震などの災害を想定した訓練を実施し、万が一の発災時の対応を確認しマニュアル等の見直しを行う。			
	職員の接遇力の向上と利用者対応や危機管理に関する意識の向上のために内部研修を定期的に行う。			
財務	施設の適正な管理と持続可能な運営を目指し、予算を効率的に執行する。			
	利用者から徴収する利用料やイベント参加費の趣旨を正確に管理し、年度末に収支報告書を作成する。			

	施設運営に必要な備品や消耗品の購入は、複数業者から相見積もりを取るなどしてコストの削減に努める。			
その他 (上記4つの視点以外の項目があれば追記)				
利用者等の意見	利用者からの意見や要望を積極的に収集し、施設の改善に役だてる。			

《自己評価》

- A：計画、目標を上回って実施
- B：計画、目標を保持して実施
- C：計画、目標を下回って実施

※「利用者等の意見」は、計画内容及び運営目標欄に利用者等から寄せられた意見・要望を、計画内容及び運営目標に対する実績・今後の取組（改善計画）欄に意見等に対する対応を記載